



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月31日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社  
 コード番号 2531  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR室長

上場取引所 東証一部・大証一部  
 URL <http://www.takara.co.jp>  
 (氏名) 大宮 久  
 (氏名) 松崎 修一郎 TEL (075) 241-5124

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	45,281	△3.5	792	434.0	1,030	192.7	360	—
19年3月期第1四半期	46,912	5.5	148	△60.6	352	△36.0	14	△98.6
19年3月期	198,535	—	7,660	—	7,846	—	4,208	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	1.67	—
19年3月期第1四半期	0.07	—
19年3月期	19.44	19.43

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	216,497	114,991	47.1	471.44
19年3月期第1四半期	207,492	110,566	47.4	454.56
19年3月期	213,393	115,570	48.0	473.61

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	348	283	1,905	32,141
19年3月期第1四半期	△213	△937	△1,140	23,402
19年3月期	12,782	△7,526	△1,558	29,601

## 2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日）

平成 19 年 5 月 15 日に発表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

## 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 19 年 5 月 15 日に発表いたしました連結業績予想の見直しは行っておりません。業績予想に関する定性的な事項は、4 ページ「【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また業績予想に関する事項（業績予想の見直しを行わなかった理由を含む）は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日まで)の連結売上高は、新規に連結の範囲に含めました長崎運送株式会社の売上がプラスされましたが、宝酒造株式会社の飲料事業撤退の影響や飲用甲類焼酎の納価改定に伴う一時的な売上高の減少により45,281百万円(前年同期比96.5%)となりました。また連結営業利益は792百万円(前年同期比534.0%)、連結経常利益は1,030百万円(前年同期比292.7%)と大きく増加いたしました。連結四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益やクロンテック社の係争和解費用などもあり360百万円となりました。前年同期の連結四半期純利益が小さかったため前年同期比は2,537.1%と非常に大きな伸率となりました。

事業の種類別セグメントの業績概要は以下のとおりです。

## 【酒類・調味料部門】\*1

酒類・調味料部門においては、全量芋焼酎「一刻者(いっこもん)」を中心とする高付加価値焼酎の育成、中食市場の更なる開拓などに取り組んでおります。

焼酎カテゴリーでは、「一刻者」を中心とする本格焼酎は好調に推移したものの、「純」「JAPAN」などのニュータイプ焼酎は引き続き減少傾向にあります。加えて飲用甲類焼酎が実質納価の改定に伴い一時的に減少いたしましたので焼酎全体の連結売上高は前年同期比93.6%の18,865百万円となりました。

ソフトアルコール飲料カテゴリーでは、本年3月に新発売いたしました「直搾り」が「WMI X」の減少を補いきれませんでした。ロングセラー商品の「タカラcanチューハイ<レモン>」などが復調の気配を見せ、ソフトアルコール飲料全体では前年同期比100.6%の4,782百万円となりました。

清酒カテゴリーでは、国内の清酒市場全体が長期に低迷するなか、戦略商品であるソフトパック「松竹梅「天」」が好調に推移し、前年同期比102.2%の4,415百万円となりました。

調味料カテゴリーでは、中食市場の開拓を進め料理清酒などの酒類調味料が好調に推移いたしました結果、前年同期比103.5%の5,133百万円となりました。

原料用アルコール等につきましては、前年同期は、販売自由化を見越した積極的な営業により大幅な増収となっておりましたが、他社の反攻、価格競争の激化により、前年同期比85.9%の1,100百万円となりました。

その他カテゴリーでは、昨年まで当部門に含めておりました物流事業を独立したセグメントといたしましたのでその売上高は大きく減少いたしました。

以上の結果、酒類・調味料部門の外部売上高は飲料事業撤退による減収2,670百万円も含め37,296百万円、セグメント売上高は37,659百万円となり、前年同期の酒類・食品部門(物流事業含む)と比べ大幅に減少いたしました。営業利益も、売上の減少や、原材料高騰の影響により、販売促進費などの販売費及び一般管理費の減少がありましたものの847百万円と同じく減少いたしました。

(\*1 飲料事業撤退に伴い当部門の名称を「酒類・食品」から「酒類・調味料」に変更いたしました。)

## 【バイオ部門】

バイオテクノロジーの研究開発活動を支援する製品やサービスを提供する遺伝子工学研究分野では、新製品・新技術開発競争の激化等の厳しい状況が続いているなか、理化学機器の売上が減少しましたものの、主力製品である研究用試薬の売上は増加しましたので、当分野の外部売上高は前年同期を上回りました。また、遺伝子医療分野につきましても増収となりました。医食品バイオ分野におきましてはキノコ関連製品が増収となりましたが、グループ内の事業再編により平成18年10月以降、健康志向食品の販売をバイオ部門からその他の部門へ移管したため、当分野の外部売上高は減少となりました。

以上の結果、当部門の外部売上高は前年同期比95.2%の4,134百万円、セグメント売上高は同98.0%の4,259百万円となりました。

営業損益面では、売上総利益率の改善、販売費及び一般管理費の削減により、当部門の営業損益は34百万円の損失(前年同期は787百万円の損失)と大幅に改善いたしました。

## 【物流部門】

前連結会計年度下期より連結の範囲に加えた長崎運送株式会社が通年寄与することとなり、物流部門の連結売上高の重要性が高まったため、当連結会計年度より物流部門として区分いたしました。当部門の外部売上高は、長崎運送株式会社の1,234百万円を加え2,083百万円、セグメント売上高は3,938百万円となり、営業利益は106百万円となりました。

## 【その他の部門】

その他の部門の外部売上高は印刷事業が552百万円、新設した宝ヘルスケア株式会社が営む機能性食品事業が903百万円など合計で前年同期比184.8%の1,767百万円、セグメント売上高は同134.4%の3,095百万円となりました。また営業利益は、機能性食品事業で営業損失となったため同じく38.5%の36百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は前年同期より 9,005 百万円増加し 216,497 百万円となりました。本年 7 月の社債償還資金としての預金の積み増しや、長崎運送株式会社など連結子会社の増加がその主な要因であります。

負債は、本年 6 月末が銀行休日だったことによる未払酒税等の増加やコマーシャル・ペーパーの発行により、前年同期より 4,580 百万円増加し 101,505 百万円となりました。

少数株主持分を加えた純資産は利益剰余金の増加などもあり 114,991 百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は 47.1%となりました。

当第 1 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 400 百万円、減価償却費 1,316 百万円、法人税等の支払い 1,534 百万円などにより 348 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得による支出 824 百万円、投資有価証券の償還による収入 1,000 百万円、関係会社株式の売却による収入 861 百万円などにより 283 百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの発行による収入 3,000 百万円、配当金の支払による支出 1,141 百万円などにより 1,905 百万円の収入となりました。

以上の結果、当第 1 四半期末の現金及び現金同等物期末残高は 32,141 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 2,540 百万円増加いたしました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第 1 四半期において連結子会社であるクロンテック社の米国での係争和解に伴う損失や投資有価証券の売却益などがありました。平成 19 年 5 月 15 日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。第 1 四半期の売上高及び営業利益等の進捗は期初見込を若干上回っておりますが、当社グループは第 1 四半期の比重が比較的低いため、上半期及び通期の業績予想に与える影響は軽微であります。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の税金費用の計上については簡便的な方法によっております。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当連結会計年度より事業区分の方法を変更しております。詳細は 9 ページ「事業の種類別セグメント情報」をご覧ください。

## 5. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前連結会計年度末 (平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	19,765	26,333			22,778
2. 受取手形及び売掛金	51,696	50,622			51,274
3. 有価証券	5,327	6,513			6,690
4. たな卸資産	25,632	25,656			25,436
5. その他	5,363	6,766			6,643
貸倒引当金	△130	△139			△156
流動資産合計	107,655	115,753	8,098	7.5	112,666
II 固定資産					
1. 有形固定資産	50,837	49,120			49,544
2. 無形固定資産	6,317	6,816			6,908
3. 投資その他の資産	42,681	44,806			44,273
固定資産合計	99,836	100,744	907	0.9	100,726
資産合計	207,492	216,497	9,005	4.3	213,393
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	16,373	14,275			13,558
2. 短期借入金	4,794	4,903			4,903
3. 1年以内に償還予定の社債	—	10,000			5,000
4. コマーシャル・ペーパー	—	2,995			—
5. 未払酒税	8,730	11,357			10,288
6. 未払費用	3,435	5,550			7,354
7. 賞与引当金	3,001	3,021			2,017
8. 役員賞与引当金	—	9			33
9. 販売促進引当金	1,575	1,532			1,366
10. その他	7,334	7,415			7,654
流動負債合計	45,245	61,061	15,816	35.0	52,176

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前連結会計年度末 (平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
II 固定負債					
1. 社債	20,000	10,000			15,000
2. 長期借入金	5,590	5,737			5,739
3. 退職給付引当金	8,206	8,702			8,690
4. 預り金	7,562	6,700			7,043
5. その他	10,320	9,304			9,173
固定負債合計	51,680	40,444	△11,235	△21.7	45,646
負債合計	96,925	101,505	4,580	4.7	97,823
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	13,226	13,226			13,226
2. 資本剰余金	3,205	3,205			3,205
3. 利益剰余金	70,113	73,044			74,308
4. 自己株式	△935	△984			△972
株主資本合計	85,610	88,491	2,881	3.4	89,767
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	12,481	12,599			11,644
2. 繰延ヘッジ損益	△23	31			5
3. 為替換算調整勘定	340	908			1,090
評価・換算差額等合計	12,798	13,539	741	5.8	12,740
III 少数株主持分	12,158	12,960	802	6.6	13,062
純資産合計	110,566	114,991	4,425	4.0	115,570
負債、純資産合計	207,492	216,497	9,005	4.3	213,393

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 前連結会計年度 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	46,912	45,281	△1,631	△3.5	198,535
II 売上原価	29,313	28,009	△1,304		122,325
売上総利益	17,599	17,271	△327		76,210
III 販売費及び一般管理費	17,450	16,479	△971		68,550
営業利益	148	792	644	434.0	7,660
IV 営業外収益	400	445	45		1,186
V 営業外費用	196	207	10		1,000
経常利益	352	1,030	678	192.7	7,846
VI 特別利益	30	614	584		1,622
VII 特別損失	258	1,244	986		1,807
税金等調整前四半期(当期)純利益	124	400	276		7,660
税金費用	338	98	△239		3,322
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△228	△58	169		129
四半期(当期)純利益	14	360	346	—	4,208

※四半期(当期)純利益の増減率が、1,000%を超えているため「—」と表示しております。

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 前連結会計年度 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	124	400	7,660
減価償却費	1,396	1,316	5,710
売上債権の増減額 (増加：△)	△60	629	1,333
たな卸資産の増減額 (増加：△)	△423	△271	245
仕入債務の増減額 (減少：△)	437	720	△2,751
未払酒税の増減額 (減少：△)	△122	1,068	1,433
その他	△299	△2,196	2,551
小計	1,051	1,668	16,182
法人税等の支払額	△1,396	△1,534	△3,362
その他	132	214	△37
営業活動によるキャッシュ・フロー	△213	348	12,782
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形・無形固定資産の取得による支出	△741	△824	△3,960
有形固定資産の売却による収入	94	723	420
投資有価証券の取得による支出	—	△422	△3,988
投資有価証券の償還による収入	—	1,000	—
関係会社株式・出資金の売却による収入	—	861	554
その他	△291	△1,054	△552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△937	283	△7,526
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	—	3,000	6,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	—	—	△6,000
配当金の支払額	△1,235	△1,141	△1,949
その他	95	46	391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,140	1,905	△1,558
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△7	3	137
<b>V 現金及び現金同等物の増減額 (減少額：△)</b>	△2,298	2,540	3,835
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	25,701	29,601	25,701
<b>VII 新規連結による現金及び現金同等物の増加額</b>	—	—	64
<b>VIII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	23,402	32,141	29,601



## (4) セグメント情報

## 1. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	41,738	4,345	2,303	48,388	(1,475)	46,912
営業費用	40,707	5,133	2,209	48,051	(1,286)	46,764
営業利益又は営業損失(△)	1,030	△787	94	337	(188)	148

当第1四半期(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	酒類・調味料	バイオ	物流	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	37,659	4,259	3,938	3,095	48,952	(3,671)	45,281
営業費用	36,812	4,293	3,831	3,059	47,996	(3,507)	44,488
営業利益又は営業損失(△)	847	△34	106	36	956	(163)	792

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	174,143	20,982	11,148	206,274	(7,738)	198,535
営業費用	165,986	21,187	10,663	197,836	(6,961)	190,875
営業利益又は営業損失(△)	8,157	△205	485	8,437	(777)	7,660

## (注)①事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・調味料、バイオ、物流及びその他の4事業に区分しております。

## ②各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・調味料	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール
バイオ	試薬(遺伝子工学用、蛋白質工学用、細胞工学用、糖生物工学用)、理化学機器、研究受託サービス、医療機器、キノコ、しめじ生産技術指導、明日葉、寒天、バイオ医食品
物流	貨物運送
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸、機能性食品

③営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の当第1四半期の金額は251百万円であり、これは持株会社である連結財務諸表提出会社で発生したものであります。

前第1四半期及び前連結会計年度のその金額は、それぞれ285百万円及び978百万円であります。

## ④事業区分の方法の変更

当連結会計年度より、従来「酒類・食品」セグメントに含めておりました「運送事業」をその金額的重要性が増したため独立セグメントといたしました。これは昨年新たに連結範囲に加えた長崎運送株式会社が通年寄与することとなったためであります。また飲料事業撤退に伴い、「酒類・食品」セグメントを「酒類・調味料」と名称変更いたしました。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、酒類・調味料事業において売上高が2,185百万円、営業費用が2,075百万円、営業利益が109百万円それぞれ減少し、物流事業において売上高が3,938百万円、営業費用が3,831百万円、営業利益が106百万円それぞれ増加し、消去又は全社において売上高が1,752百万円、営業費用が1,756百万円それぞれ減少し、営業利益が3百万円増加しております。

## 2. 所在地別セグメント情報

当第1四半期（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）、前第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）及び前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

## 3. 海外売上高

当第1四半期（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）、前第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）及び前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載は省略しております。

## (5) 販売の状況

## 販売実績

当第1四半期における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	前第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)	
酒類・調味料 (前期：酒類・食品)			
焼酎	20,165	18,865	93.6
ソフトアルコール飲料	4,753	4,782	100.6
清酒	4,321	4,415	102.2
その他酒類	2,341	2,591	110.7
酒類計	31,582	30,655	97.1
本みりん	3,774	3,819	101.2
その他調味料	1,183	1,314	111.1
調味料計	4,958	5,133	103.5
飲料	2,670	—	—
原料用アルコール等	1,281	1,100	85.9
その他	1,121	406	36.0
計	41,613	37,296	89.6
バ イ オ	4,343	4,134	95.2
物 流	—	2,083	—
そ の 他	956	1,767	184.8
合 計	46,912	45,281	96.5

(注) 1. セグメント間の内部売上高は除いて記載しております。

2. 金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。